

松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会（第16回）開催概要

日 時	令和6年11月11日（月） 14:00～16:00
場 所	松戸市役所 新館5階 市民サロン
出席者	会田直樹、岩本成、小川康博、影山貴大、木内利明、桜井寛樹、 武田史朗、谷龍樹、水戸美津子、伊東朱美（敬称略）
事務局	松戸市総合政策部政策推進課

1 開会（委員自己紹介）

2 市からの報告

- (1) 松戸市総合計画について
- (2) 松戸市の人口動態について
- (3) 松戸市総合計画に掲げる指標の実績値・達成状況の推移
- (4) 地方創生 SDGs 産学官民連携推進事業について

3 意見交換

○ 出席者意見

●SDGsのKPIについて、市内4大学の大学生における市内就学率及び就職率というのは、市内に限ってしまうとハードルが高くなってしまっているのではと感じます。例えば都内に就職しても、松戸市に住む方というのはいると思うので、さらに設定を厳しくしているのではないかなと思いました。

●まつどSDGsキャラバンについてですが、Z世代は現在の十代前半から二十代半ばくらいを指すと思うので、中学生も高校生も入ります。葛飾区の例になりますが、いくつかの高校で部活動として防犯活動をやっているところがあります。スポーツをやらないうちが多い中で、そういった地域活動を自分の時間を使ってやりたいと思う生徒もいるかと思っています。高校生だったり中学生に目を向けても面白い意見を持っているのではないかなと思います。

●交通関係になりますが、KPIのNo.108「電車やバスなどで市内を移動するための交通の満足度」に関連した意見として、今、松戸駅周辺で無人のバスを試験的に走らせているというのを聞き、ホームページを見たら試乗会をしたということを見ましたが、安全性なども気になるようです。

京成関連のバス会社の再編で、京成電鉄による新京成電鉄の吸収合併において、松戸新京成バスも合併される中、バス事業の再編もあります。バスの運転手の人手不足などにより、一般市民の足を確保できなくなってしまうような状態にならないよう、自治体の方からも訴えていただけるとありがたいです。

●K P IのNo.86「まつどDEながるステーション設置箇所」についてですが、4ヶ所から11ヶ所ということで、3倍近く一気に増えています。もともとの地域活動で素地があるということで、色々な居場所作りがされていてすごく良いことだと思います。

●数値目標のNo.9の「主要観光スポットの観光客数」についてですが、別の市でも、この懇談会のような集まりで、こういった目標に対する現状という部分をご説明いただく機会がありましたが、やはりコロナの影響が非常に大きくて、そういう観光の入込み客数がなかなか回復しなかったり、居場所を作っても、なかなか増えていかないというお話を聞いたことがあります。

この数値目標を拝見しますと、やはり松戸市の政策的な努力やポテンシャルの高さを感じます。市内大学の生徒さんと自治会の皆さんと連携した取り組みも、結果的に周りの人が集まり関係人口創出にもつながっていくと思います。先般、ビール販売など駅前でのにぎわいづくりのイベント開催に触れ、そういったことで人が集まってくると思いますが、そうすると、その地域自体の魅力も上がっていくと思います。

●人口についてですが、50万人に到達したということで、日本全国を見ると大半が人口減少している中で、松戸市は増えているというのは松戸が選ばれているという良い側面もある一方で、今後どのみち日本全国で人口が減っていく中で、どう人口を増やすかよりも、どう松戸が維持していくかという形に今戦略をシフトしていても良いのではないかなと思います。

松戸市だけではなく、東葛地区や千葉県でといった考え方がSDGsの根幹の考え方ではないかなと思います。人口50万人になったその先にある戦略までそろそろ切り替えて考えていった方が良いと感じています。

●K P IのNo.54についてですが、「スクールソーシャルワーカーが受けた相談件数」について、相談数が増えるということ自体は、機能していると捉えられることも思うのですが、その中身が重要だと思います。例えば、何気ないことを相談する回数が増えているということは良いことなのですが、重い内容が増えている場合はあまりよろしくないという状況かなと思いますので、相談をした学生たちがどのように変容してるのが重要となる指標もあると思います。

K P IのNo.61「SNSを活用した観光情報提供数」についても、SNSによる投稿回数も重要な一方で、それに対するアクションがどうだったのか、投稿の先にある、その市民の方たちの変容変化がどうだったかが重要だと思います。

●外国にルーツがある方が増えてらっしゃるという話がある一方で、K P Iを見ると、外国籍の方たちに対する施策が少なめなのかなと思います。今後、市として、その外国にルーツのある方をどのように受け入れていくのか、特有の悩みがある中でどういう施策が必要なのかということも大事になってくると思います。

●生涯学習の講座に関連して、シニア層が増えている中で家庭と学校以外の学びの場という形で、社会教育という観点のニーズが増えてきていると思います。

公民館が矢切にあったり、地域活躍塾があたりすると思うのですが、社会教育とか生涯学習のような切り口ももう少し増やして、元気なシニアの方たちが地域で活躍していただけるといいなと思います。

●SDG sのK P Iの「市内4大学の大学生における市内就学率及び就職率」についてですが、大学院への就学は学生の学びたいテーマによって決まるところであり、市への愛着によるという訳ではないと思います。この事業のK P Iとしては、学生たちがどれだけ松戸に対して愛着を持ってくれたのかのところに重点を置いていくことの方が、連動性があるのではないかなと思います。

将来的に就職率が増えたらうれしいことかなと思う一方で、今回取り組んでいただいている企画の中では、愛着の増加でとらえられた方が効果的な検証ができるのではないかなという気がしました。

●数値目標のNo.7「子育て支援の満足度」について、共働き子育てしやすい街ランキングで松戸市が、3回目の総合編1位になったことを考えると、少し評価が低いのかなと感じました。

●数値目標のNo.20「あなたにとって松戸市が住みやすいですか」の問に対する回答について気になった点になりますが、逆に住みにくいと回答した人は何が課題・問題だと感じたのかということまで追跡されていると、今後の具体的な課題解決につながるかなと思いました。

●数値目標のNo.29「商業の年間商品販売額」について、数字だけ見ますと、令和5年の実績値が、一兆円を超えています。数字はすごいのですが、中身をきっちり見ていくと大半が卸売業で医薬品とか化粧品が非常にウエートが高い形となっております。準商業中心都市ということで、他市から顧客を呼び込むためには、小売業が力を発揮してもらえるような構成が理想的だと思います。小売業についてはやや減という状況で、ある程度の規模の大きなところを誘致するなりして、他市からお客さん呼び込めると良いと思います。

●市内に大型のバンケットルームが無く、どうしても他市の施設に流出してしまっているのが、せっかくのビジネスチャンスがもったいないと思っています。ですので、新拠

点ゾーンと並行し庁舎の再整備ですとか、老朽化した行政施設の再編ですとか色々これからあると思うのですが、こういったことも含めて検討いただきたいと思っています。

●K P I のNo.118「中小企業経営相談件数」について、すごく成果が出ているなと思いました。新しい企業が出てきて、雇用が生まれてというサイクルがないと、やはり町は活性化していきませんので、ここについてはきちんと私どもも、情報交換しながらやっていきたいと思っています。

●総合計画の中に、都市機能の更新時期を迎えているというキーワードがありますが、千葉銀行が入っているビルは建ってから50年が経過しています。松戸駅前をどうしていくかという再開発と絡んで、やっていけないといけないう部分でやはりどうしても大きいテーマになると思います。長期的な目線で、情報交換をしていけないといけないと思う中で、より市役所の方とも、情報交換、今後とも継続させていただきたいなと思っております。

●私どもが普段接する企業経営者の方は、松戸愛が本当に強いです。ただ、例えば企業経営者2代目3代目の方や長年松戸にお住まいの方と、転居されてきた方を比べるとやはり差があるので、この差を近づけていけるように私どもも動いていきたいと思っていますし、松戸への愛着をどうやって高めていくか一緒に考えていきたいなと思っています。

●S D G s の取り組みとして、常盤平団地エリアをモデルとしたリブランディングについては、まさに起爆剤になるようなお話かと思っています。この部分については、動きが気になると同時に期待しているところです。

●K P I のNo.48「小学校における不登校者の割合」についてですが、やはり不登校の割合が増えていることが気になります。ただ子どもを学校に行かせればいいという話ではないので、その辺りについてこのK P I をとおして、減らすという方法についてどういった議論になっているかが気になりました。

●外国人の方の関係や、つながるステーションの動きやまちライブラリーなど、そういったものが組み合わされたアクションが見えるととても良いのかなと思いました。

●駅前話になりますが、デッキ広場にやはり緑があると気分が随分違うのではないかなと思います。例えば、何かプランターを置いて、それにアダプト制度的にこう市民が関わることができるような取り組みをしてみてもいいのではないかなと思いました。

●S D G s 自体を浸透させたり、みんなで議論してもらおう取り組みについては、そこから出てきたアイデアの中で、どうやってその政策や活動等で、できそうなものがあるのか。

イベントをただけとならないでいただけると嬉しい。

●数値目標とKPIについては、やはり一般的にどうしても分割する方向になってしまうと思うので、それがどう繋がるのかという話を、中間時点で例えば市民の皆さんにワークショップでつなぎ合わせてもらうとか、何か改めてそういう議論もあってもいいのかなと思います。

●当然ではありますが、この総合計画の中で松戸らしさという部分はオールラウンドな形になっていますが、KPIの振り返りの中で、少し視覚化・見える化をしていただけると良いのかなと思いました。

歴史の話はほとんど出てこないと思いますが、松戸らしさを考えるうえでこの場所の歴史というのはとても大事だと思います。

●人口が増えているが、高齢化が進んでいるという中で、KPIのNo.108「電車やバスなどの市内を移動するための交通の満足度」については、目標値には非常に近いところではあるのですが、人口が増えていて高齢化が進んでいけば、ますます公共の交通機関の重要性が増してくると思います。

●流山ですとか、さらにはその先のつくばといったところの人口はどんどん増えている訳ですが、その人口の方が、ある意味松戸市の横を通り過ぎて都内にいろいろ行く形があると思いますが、そういった方について、松戸市でもいろいろ買い物などご利用していただく、そういった意味での近隣地域との交通の便ということも、必要になってくるのかなと思います。

●不登校者の割合に関連してですが、通信制の学校も成績的に非常に優秀な生徒さんも多くて、偏差値の高い大学へ進学していく方というのはたくさんいます。不登校をなくし普通に通学できることはいいのかもしれませんが、必ずしもそれがすべてではないですし、色々な学びの場の提供ということも、検討していくべきなのかなということを感じた次第です。

●近所に古くからの神社がありまして、10月の時期にはお祭りをやるのですが、私が小学生だった頃には色々な屋台なども出て、子ども神輿などもあって、非常ににぎやかにでした。もう年々、それがいつの間にか屋台も出なくなり、あとはコロナの影響も非常に大きかったのでしょうか、今年については、踊りは何とかやりましたけれども、もう数年前から子ども神輿については出なくなり、住民としては寂しく感じています。

●松戸市の魅力についてですが、訪日外国人の数が非常に増えている中で、一体どこに行かれてるのかSNS等では本当に色々なところが紹介されたりしていますけれども、実際にこういう人たちがどこに興味を持って、どこに行ってるのかをもっと掘り起こし

て、ホームページ等でPRするといいいのかなと思います。住んでる私たちの目線と外国人の目線というのは違ったりすると言われてますので、そういうところも少し知りたいなと思いました。

●K P IのNo.67「健康遊具設置地域公園数」についてですが、松戸市がいわゆる健康医療都市松戸を目指していることを標榜しているので、設置の数だけではなく、松戸市のどの公園にはどういう健康促進器具があるということを市民に広報すると、効果的に市民が使えるのではないかなと思いました。

●K P IのNo.88「医療体制に関連するホームページのアクセス件数」についてですが、市民はホームページのどういうところにアクセスして、その滞在時間はどのくらいなのか、つまり一番どこに関心があるのかという分析をすることによって、滞在時間の多いところにさらに多い情報を入れていくということも、大事なのかなと思います。

●駅のリニューアルに関連するのですが、例えば住みやすいまちとか子育てしやすいまち、健康医療都市についてなどが、駅から降りたときに、パッとわかるようなものがあるといいいのではないかなと思います。

例えば、数値目標のNo.42の「住み続けたいと思う人の数」を見ると72.4%となっているので、そういう部分はすごく目が行くので、観光や住まい探しに来た人に松戸の良さや今松戸市が目指している方向性とか、そういったものが見えるといいいかなと思います。

●健康医療都市松戸というところで、松戸市には大規模病院が4つもあって、救急も受け入れられるような病院もありますので、ただ子育てしやすいというだけではなくて、病気をしても安心して住める市ですという部分をもっとPRすると魅力が増すかなと思いました。

●SDGsのK P Iにおける「市内4大学の在学生における市内就学率及び就職率」の就職率についてですが、大学に在学している4年間の間に、ボランティアで地域に入っている学生たちがたくさんいます。

ボランティアに行ったときに、やはり何か市の感じが見えると良いかなと思っています。PRできるようなグッズなどを学生に渡すことで、例えば子育てしやすい市であることですか、健康医療都市を目指していることが学生に伝わりやすくなるのではないかなと思います。

松戸は子育てでは、全国ナンバーワンであるという話をしても、学生は「そうなんですか」という反応の時もあるので、そういった広報もしていただくといいいかなと思います。

●松戸市には、色々な大学があるので、そういう学生たちが何か市に対して意見を言えるような、そういった委員会のようなものもあるといいのかなと思います。

●松戸市のまちづくりをリニューアルするという局面に来ておりますので、本来ならばあるべきだろうというものをきちんと持てるように、市だけではできないことをPPPとかPFIとった公民連携という形で、皆さんと進めていかなければならないと感じます。

●松戸市をPRする上での主軸はやはり緑かなと思ってまして、常磐線沿線ですと千葉県に入った途端に緑と水があることが強みだと考えています。

●広域的にまちづくりを進めていくというところを、ケーブルテレビさんのご協力をいただいて魅力アップをして、若い方々が起業するときにはやはり資金が必要なので千葉銀行さんとか商工会議所さんには、バックアップをしていただきたいと思います。

●松戸市は50万人都市になり、色々なことをチャレンジできる場になると思っていますので、若い方々に特に注目していけたらいいなと思っております。

経済が回らないと、豊かになれないということも事実でございますので、そのところは松戸市としては50万人になったから喜ぶだけではなく、逆に気を引き締めてこれからどうしていくかという局面になったので、今後とも是非忌憚のないご意見をいただいて進めていきたいなと思っております。

4 事務局からの報告

○ 事務局説明

- ・ 懇談会での意見等は、庁内関係部署にフィードバックする。
- ・ 懇談会の資料及び懇談概要を松戸市のホームページに掲載する。

以上